

さくら通信

令和3年 1月発行

〈発行者〉

さくら動物病院

新聞編集委員

今井

竹花

新年明けましておめでとうございます

昨年は世界的に新型コロナウイルスの感染が起こり、日常生活が制限されました。皆様方におかれましては本当に大変な一年であったと思います。当院では昨年一年間、動物病院として困っている飼い主様、病気に苦しんでいる動物たちを救うため自分たちのできることを粛々と行ってまいりました。昨年はたくさんの方々にお会いできたことに感謝いたします。

動物医療は治療対象が言葉を話す事ができない動物であるため、日々診療することの難しさを感じると同時に、言葉を話す事ができない動物が、元気がない時や具合が悪くなってしまった時に飼い主様が感じる不安は大きなものだと思っています。

そのため当院では、飼い主様には丁寧で分かりやすく、動物には優しく、飼い主様のご理解のもと病気は積極的に検査・治療することを診療方針としています。

動物の医療は日々進歩して、診療できる内容も高度化しております。

当院では一般診療とともに眼科・再生医療・整形外科・皮膚科・エキゾチック等の専門分野を拡充してきました。それぞれの担当獣医師が真摯に専門分野に向き合い医療サービスとして提供できるレベルに達しております。長野県は大都市のように専門病院が存在しませんので一般病院がその役割を担っていくことが当院の使命と感じております。

当院では日常的なケアから高度医療まで、皆様が動物と暮らしている上で必要なサポートをさせていただけるよう努力していますが、今後もよりオーナーに寄り添い便利にご利用していただける動物病院になれるよう努力してまいります。

今年は2001年に開業し20年目の節目となります。「人と動物の笑顔のために」精進していく所存であります。

本年もどうぞ宜しくお願い致します

院長 横山篤司



みなさん、ねこちゃんのキャリーバッグはどのようなものを使用していますか？

ねこちゃんを動物病院に連れて行く時にはキャリーバッグに入れてくる方が大半だと思いますが、しっかりしたものを1つ準備しておけば、通院はもちろん引っ越しや帰省、災害時にも役に立ちます。素材や形などで迷っている方は、ぜひ参考にしてみてくださいね！

Q. どうしてキャリーバッグに入れた方が良いのでしょうか？



A. ねこちゃんは慣れない環境が苦手なので、慣れない人や場所・他の動物・何をされるかわからない恐怖などによって、パニックになって暴れてしまうことがあります。そうすると、おうちのねこちゃんはもちろん飼い主さん自身や、動物病院に来院されている他の動物さんや人も怪我をしてしまいます。また、何も入れずフリーにしておくと、車の中で動き回ってしまったり降ろす際に脱走してしまったりしてしまうこともあるので、必ずねこちゃんはキャリーバッグに入れて来院してください。

ここなら
安心！



おすすめのキャリーバッグ

プラスチック製

おすすめの形とポイント

- ・上と横に出入口がついているタイプ
→嫌がるねこちゃんでも出し入れが簡単
- ・簡単に上下を分割できるタイプ
→中が汚れた時も分解して簡単に洗える
- ・強度があり頑丈なので形が崩れず破けることがない(積み重ねも OK)



デメリット

- ・布製に比べて重さがある
- ・分割できるタイプでもししまう時にかさばる

おすすめの形とポイント

- ・上と横に出入口がついているタイプ
→嫌がるねこちゃんでも出し入れが簡単
- ・布製なので軽く持ち運びが楽、形を変えてしまえる
- ・素材が柔らかいので、ねこちゃんにとって居心地が良い(通気性も○)

布製



デメリット

- ・汚れ、臭い、毛が付きやすい
- ・チャックで開閉するタイプは、ねこちゃんが自分で開けて脱走してしまうこともある



どのキャリーバッグでも…

- ・中に毛布やペットシートをひいておく◎
- ・怖がりの子にはバッグの上から布をかけておく◎外が見えなくなって安心します
- ・特に怖がりの子は洗濯ネットに入れてからキャリーバッグに入れるとさらに安心です



犬の仕事、 どんなのがあるか知っていますか？

みなさんは犬の仕事にどんなのがあるか知っていますか？有名なのは警察犬・盲導犬・聴導犬・介助犬などでしょうか。ですがこれだけではなく、犬はその能力を活かしてもっと様々な分野で活躍しています。今回は「嗅覚」「頭脳」「習性」の3つに分野を絞って紹介したいとおもいます。

嗅覚

犬の嗅覚は人間の100万倍～1億倍といわれています。倍率に幅がある理由は短い鼻よりも長い鼻のほうが嗅覚がよく利くからです。ではどんな仕事があるのでしょうか。

☆ 麻薬探知犬・警察犬・災害救助犬・その他嗅覚を活かした仕事

主な犬種：ジャーマンシェパード、
ドーベルマン、ラブラドル etc...



頭脳

犬はとても頭のいい動物で、個体によっては3歳児以上の能力をもつものもいます。では、どんな仕事があるのでしょうか。

☆ 盲導犬・聴導犬・介助犬

主な犬種：ラブラドル、ゴールデンレトリバー、
ジャーマンシェパード etc



習性

犬の習性を活かした仕事とはどんなのがあるのでしょうか。

☆ 牧畜犬（牧羊犬）・猟犬・競争犬・闘犬・害獣駆除犬・セラピードッグ



主な犬種：ボーダーコリー、グレイハウンド、
マスティフ、土佐犬、プードル etc...

大まかな分類ですが以上のような仕事があげられます。嗅覚を活かした仕事の中では少し変わったものもあり、例えば、癌探知犬・トリュフ探知犬・考古学犬などがあります。

犬の特徴や習性を活かしたうえで、仕事のパートナーとして活躍してくれています。

そんな仕事をしている犬たちを見たら、近寄ったり声をかけたりせずに遠くから見守ってあげてください。

森泉 🐾

～ほんとうにあった怖い心臓病の話～

中高齢の犬猫でよく遭遇する病気の1つに心臓病があります。人では心臓弁膜症という病名でCMでも流れているのでご存知の方も多いかと思います。心臓病は初期にはほとんど症状なく、進行して初めて気づくということも多い病気です。今回はほんとうにあった怖い心臓病の話をご紹介します。

～第1話 少しでも留守の間に部屋で倒れていた愛犬！～

高齢になってきたが食欲元気ともに変わりはないし、ワクチン接種やフィラリア予防もしっかりとやっていた飼い主 A さん。ワクチン診察時に「心雑音がありますね。心臓の検査をお勧めします」と言われていたが高齢だが元気だし、大したことはないだろうと考えていた A さん。ある日、数時間だけ買い物に出かけ帰宅後わんちゃんが倒れて苦しそうにしているとのことで来院されました。検査の結果病名は「僧帽弁閉鎖不全症（心臓弁膜症）による肺水腫」。ICUでの入院を余儀なくされました。この肺水腫というのが陸にいながらにして、水の中でおぼれているような苦しさのある状態で、死の危険がある非常に怖い病気なのです。1度肺水腫にかかると多くは1年以内に亡くなります。

検査をすすめられたあのときにやっておけばよかった・・・



「高齢だし検査は負担になりそうだからやらないでこーう」
診察していると、こう話される飼い主さんは結構いらっしゃいます。確かに検査も全くストレスがかからないというものではありません。しかし、心臓病においては、とくに苦しんで亡くなることが多いため「無症状の期間を長くし、苦しんでしまう期間を短くすること」がポイントとなります。早期発見して治療が必要な場合は治療を開始することで、結果的に元気に長生きできることにつながっていくのです。診察時に私たち獣医師が聴診器で聞いている心雑音は心臓病初期でもみられる症状なので、「心雑音がありますね」と言われたら心臓の検査をおすすめします。ちなみに猫も心臓病は珍しい病気ではありません。猫は心雑音があっても心臓病とは限らないため、心臓エコーを当てることが重要となります。そのため7歳以上の子は性格にも依りますが、できれば1年に1回の心臓エコー検査をおすすめします。



早く心臓病を見つけられ
たら苦しまずに長生きで
きるってことだね！

獣医師 空

SAKURA ANIMAL CLINIC
さくら動物病院

長野どうぶつ眼科センター(併設)

休診：火曜日／第四日曜日／木・日・祝祭日の午後

メールマガジン月2回配信中！
詳しくはこちら



休診日・午後休診は
当院のホームページまたは
お電話にてご確認ください。